



日本航空台灣分公司（函）

地址：台北市 105 民生東路三段 138 號 11 樓

電話：02-2175-5813

承辦人：日本航空事業開發室 劉麗珉

受文者：如收件單位

發文日期：中華民國一一一年九月十二日

發文字號：日航外發字第 2022018 號

附件：線上課程預定表、同意書、報名表、聯合國發表之 17 個永續發展目標

主旨：謹送「2022 年 JAL SCHOLARSHIP 日本研究 PROGRAM」甄選大學生參加
線上研習活動，報名表格式(如附件)，敬請 惠允推薦優秀學生參加甄選。

說明：

- 一、活動宗旨：增進亞洲各國學習日語之大學生對日本的深入了解，促進國際文化交流，期許能成為中日文化交流之橋樑，並積極分享所學，對社會有所貢獻。現今因新冠疫情影響以致台日間往來受限，特別改為線上研習課程。
- 二、主辦單位：公益財團法人 JAL 財團
- 三、協辦單位：日本航空公司
- 四、線上研習課程日程：2022 年 11 月 26、27 日，12 月 3、4、10、11、17 共 7 日
- 五、台灣全省甄選人數：4 名
- 六、研習方式：第 1~5 日活動為線上互動及討論，第 6 日及第 7 日活動將安排台灣地區入選同學們齊聚一堂，參加與其他海外地區入選同學之線上交流，第 7 日並設有日本文化體驗活動及舉辦修業式。(詳細活動內容，請參照附加線上課程預定表。如遇特殊狀況，將更改活動內容，敬請諒解)
- 七、參加資格：
 - (一) 彰化以南(彰化縣市、雲林縣、嘉義縣市、台南市、高雄市、屏東縣市、台東縣市)對日本有興趣之大學、研究所在學學生(2022 年參加線上研習時仍具在學資格為限)。
 - (二) 20 歲以上、25 歲以下、中華民國國籍(本人與其雙親均為不以日語為母語者)、品行良好、身體健康、積極進取、有團隊精神、日語能力檢定 2 級以上合格者(含 2 級合格者)。
- 八、注意事項：
 - (一) 獲選同學參加線上研習時，須全程參與研討課程，遵守紀律，若有任何不妥行為，主辦單位將有權隨時終止其參與研習課程。
 - (二) 研習前，將由主辦單位提出事前課題檢討、研習結束後須提交心得報告，參加同學須於主辦單位限定之期間內繳交。
 - (三) 獲選同學參加課程研習期間之錄影內容、書面發表等資料之使用權皆歸屬主辦單位。

(四) 獲選同學參加課程研習後，期盼能以日航財團獎學金代表之所學經驗充分活用，貢獻所學。

九、研討主軸：

參加同學請先研讀本次線上研習營討論主軸

「SDGs」：持續可能な未来へ、氣候危機と私たち。踏み出そう、未来に続く豊かさのために

説明：2015 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」にて記載された 2016 年から 2030 年までの国際目標です。

持続可能な世界を実現するための 17 のゴール・169 のターゲットから

構成され、地球上の誰一人として取り残さない (leave no one behind) ことを誓っています。

聯合國發表之 17 個永續發展目標

:http://www.unic.or.jp/news_press/features_backgrounders/15760/

十、報名辦法：

參加同學填妥報名表(日文格式共 4 頁)及同意書後，附上日語能力檢定 2 級(或以上)合格證書影本，以郵寄方式寄至：

(10596) 台北市松山區民生東路三段 138 號 11 樓

日本航空台灣分公司事業開發室/劉麗珉

十一、報名截止日期：2022 年 10 月 6 (星期四)截止收件，郵戳為憑。

一律以學校為單位，每校推薦名額(含研究所)最多合計 3 名。

十二、評選方式：第一次書面審查合格者，將個別通知參加面試。

十三、面試日期：2022 年 10 月 12 日(星期三) (時間將另行通知)

十四、面試方式：將以電郵方式個別通知

十五、公佈日期：2022 年 11 月 7 日(星期一) (將個別通知)

十六、經費：線上研習課程相關教材與 12 月 11、17 兩日往返共同討論會場的交通、餐飲費及平安保險等(不包括電話及網路等私人花費)，均由主辦單位負擔。

正本： 國立成功大學、國立中山大學、國立中正大學、國立高雄師範大學、
國立彰化師範大學、國立嘉義大學、國立高雄大學、國立雲林科技大學、
國立屏東科技大學、國立高雄科技大學、國立台東大學、國立虎尾科技大學、
國立台南藝術大學、國立台南大學、國立屏東大學、國立高雄餐旅大學、
私立大葉大學、私立義守大學、私立高雄醫學大學、私立南華大學、
私立南台科技大學、私立崑山科技大學、私立嘉南藥理大學、
私立樹德科技大學、私立輔英科技大學、私立長榮大學、私立正修科技大學、
私立建國科技大學、 、台灣首府大學、私立台南應用科技大學、
私立高苑科技大學、私立實踐大學、私立文藻外語大學、私立遠東科技大學、
私立大仁科技大學、私立中華醫事科技大學、私立和春技術學院、
私立中州科技大學、私立環球科技大學、私立吳鳳科技大學、
私立美和科技大學、私立明道大學、私立東方設計大學、私立大同技術學院、
國立台南護理專科學校、國立台東專科學校、私立樹人醫護管理專科學校、
私立慈惠醫護管理專科學校、私立敏惠醫護管理專科學校、
私立育英醫護管理專科學校、私立崇仁醫護管理專科學校、
私立中信金融管理學院

日商日本航空股份有限公司
台灣分公司

總經理 竹田 亨

2022 オンラインJALスカラシッププログラム 全体スケジュール案

	日付	曜日	プログラム内容
1	11月26日	土	<p>OSDGsに関する講義やワークショップを通じて、2日目以降の研修準備をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・イントロダクション&アイスブレイク ・ワークショップ
2	11月27日	日	<p>○専門家の講義を受け研修テーマとなる気候危機の現状を学び、気候危機について参加者同士で意見交換を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義：気候危機や世界の現状について（講師：平田仁子氏 NGO Climate Integrate） ・オンラインワールドカフェ（グループディスカッション） ・質疑応答 ・振り返り
3	12月3日	土	<p>○気候危機に対する解決策について学びます。また、参加者同士で解決策などを話し合います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義：ユースや市民の活動について（講師：宮崎紗矢香氏 国立環境研究所 社会対話・協働推進室コミュニケーター） ・オンラインワールドカフェ（グループディスカッション） ・質疑応答 ・振り返り
4	12月4日	日	<p>○オンラインフィールドワーク（日本の現場の視察）を行い、気候危機に関してどのようなアクションが取られているかを学びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問先：NPO法人しんりん（所在地：宮城県 https://www.vestachp.com） ・グループディスカッション ・振り返り
5	12月10日	土	<p>○オンラインフィールドワーク（日本の現場の視察）を行い、気候危機に関してどのようなアクションが取られているかを学びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問先：日本フードエコロジーセンター（所在地：神奈川県 https://www.japan-fec.co.jp） ・グループディスカッション ・振り返り <p>※訪問先の都合により、開始時間が変更になる可能性があります。</p>
6	12月11日	日	<p>○5日目までの講義やフィールドワークから得た知識を基にアクションプランを考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義：アクションプランの作成方法について ・アクションプラン作成 <p>※6日目は現地の会議室に集まりプログラムにご参加いただく予定ですが、コロナ感染症拡大の状況や学生（スカラー）の負担を考慮し、変更となる可能性があります。</p>
7	12月17日	土	<p>○アクションプランを発表していただきます。発表後は、日本文化体験と修了式をオンラインで行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクションプラン発表、フィードバック ・日本文化体験（調整中） ・修了式 <p>※7日目は現地の会議室に集まりプログラムにご参加いただく予定ですが、コロナ感染症拡大の状況や学生（スカラー）の負担を考慮し、変更となる可能性があります。</p>

永續發展目標

- 目標 1. 消除各地一切形式的貧窮
- 目標 2. 消除飢餓，達成糧食安全，改善營養及促進永續農業
- 目標 3. 確保健康及促進各年齡層的福祉
- 目標 4. 確保有教無類、公平以及高品質的教育，及提倡終身學習
- 目標 5. 實現性別平等，並賦予婦女權力
- 目標 6. 確保所有人都能享有水及衛生及其永續管理
- 目標 7. 確保所有的人都可取得負擔得起、可靠的、永續的，及現代的能源
- 目標 8. 促進包容且永續的經濟成長，達到全面且有生產力的就業，讓每一個人都有一份好工作
- 目標 9. 建立具有韌性的基礎建設，促進包容且永續的工業，並加速創新
- 目標 10. 減少國內及國家間不平等
- 目標 11. 促使城市與人類居住具包容、安全、韌性及永續性
- 目標 12. 確保永續消費及生產模式
- 目標 13. 採取緊急措施以因應氣候變遷及其影響
- 目標 14. 保育及永續利用海洋與海洋資源，以確保永續發展
- 目標 15. 保護、維護及促進領地生態系統的永續使用，永續的管理森林，對抗沙漠化，終止及逆轉土地劣化，並遏止生物多樣性的喪失
- 目標 16. 促進和平且包容的社會，以落實永續發展；提供司法管道給所有人；在所有階層建立有效的、負責的且包容的制度
- 目標 17. 強化永續發展執行方法及活化永續發展全球夥伴關係

2022 Online JAL SCHOLARSHIP PROGRAM

毎年日本にご招待しておりますが、今年はオンラインで開催します



プログラムテーマ

[SDGs]～持続可能な未来へ～ "SDGs" - Towards a Sustainable Future -
気候危機と私たち。踏み出そう、未来に続く豊かさのために The Climate Crisis and Us. Let's step forward for future prosperity.

2022年11月26日、27日、12月3日、4日、10日、11日、17日 (全7日間)

November 26, 27, December 3, 4, 10, 11, 17, 2022 (7days in total)



主催: 公益財団法人JAL財団

協賛:  **JAPAN AIRLINES**

協力:  J.E.E.F
Japan Environment Education Forum
1989

公益社団法人 日本環境教育フォーラム 後援:申請中